

令和6年度第1回 千葉市史編さん会議議事録

- 1 日 時：令和6年8月9日（金） 午後1時30分～3時
- 2 場 所：千葉市立郷土博物館 講座室
- 3 出席者：（委員）
吉田会長、今井副会長、小池委員、佐野委員、中澤委員
（事務局）
齋木生涯学習部長、君塚文化財課長
天野館長、芦田副館長、錦織主査、土屋主任主事

4 議 題

- (1) 『千葉市史 史料編12 現代1』について
- (2) 令和6年度事業中間報告について
- (3) その他

5 議題の概要

- (1) 『千葉市史 史料編12 現代1』について
令和8年度刊行予定の『千葉市史 史料編12 現代1』の概要・工程について説明した。巻の構成案や内容について議論が出された。
- (2) 令和6年度事業中間報告について
令和6年度事業中間報告について説明した。史料調査・収集・整理事業、刊行事業、普及事業、市史協力員などについて議論が出された。
- (3) その他
当館の常設展示リニューアルについて話題が出た。

6 会議経過

午後1時30分、委員5人中5人着席。

司会（錦織主査）より、千葉市史編さん会議設置条例第5条第2項の規定により、会議が成立する旨が告げられ開会。資料の確認、齋木生涯学習部長からの挨拶を行った。

その後、新任の中澤委員の挨拶、さらに吉田会長の挨拶に続き、設置条例第5条第1項の規定により、会長が議長となって議事に入った。

議題1 『千葉市史 史料編12 現代1』について

『千葉市史 史料編12 現代1』について、工程スケジュール、構成案、史料調査の項目に分けて、芦田副館長が説明。

<質疑応答>

吉田会長：それでは議題1について、質問や意見があればお願いしたい。歴史的公文書は、「千葉市歴史的公文書」という名称で保管されているのか。

土屋主任主事：その名称で保管されている。

吉田会長：これは現用文書ということか。

土屋主任主事：非現用文書である。

吉田会長：目録は作成されているのか。

土屋主任主事：詳細ではないが、箱別のリストは所管課で作成されている。

今井副会長：綴でまとめられた簿冊が数冊ほど箱の中に入っている状態だったと思うが、1冊ずつに目次のような形で件名が入っていたような気がする。

事務局（土屋）：リストには、箱の名前と、箱の中にある簿冊名が記載されているので、どの箱に何の簿冊が入っているかを検索できるようになっている。

今井副会長：各簿冊には文書の件名は記載されていたような気がする。

芦田副館長：記載されていたと思うが、データ化はされていない。

吉田会長：歴史的公文書の情報は、市史編さん事業に対して共有されているのか。

土屋主任主事：市史編さん事業の目的であれば、歴史的公文書を借用して撮影するところまで可能となっている。

今井副会長：マイクロフィルム化はされているのか。

土屋主任主事：全部がマイクロフィルム化されているわけではない。

吉田会長：内容的にはいつ頃からのものがあるのか。

土屋主任主事：戦後の公文書が多いが、戦前の公文書も存在する。

今井副会長：現代の史料編に収録された史料で、その原本を閲覧したい場合、市史編さん担当を通せば見ることはできるのか。

土屋主任主事：問い合わせがあれば対応する。

吉田会長：戦後の史料編の構成案などについてはどうか。

小池委員：旧軍用地の開拓について、戦後の旧軍用地自体は教育施設などさまざまな形で利用されている。その内容も含むのか、それとも農地の開拓の話になるのか。

事務局（土屋）：史料がどこまで出てくるか次第で、取り上げ方が変わってくる。

小池委員：どういう経緯で旧軍用地が利用されるようになったのか知りたいと思ったので。

吉田会長：構成案の章立てや個々のトピックは魅力的で面白そうであるが、史料選定から史料翻刻や史料解説執筆に至るまで、工程表の期間でできるのか気になる。

今井副会長：漁業関係の補償については、詳細なことまで取り上げることが非常に難しい。現代の史料編にどの史料がどのような形で収録されるのか興味を持っているが、地域によっては明瞭な史料が残っているのか。

土屋主任主事：項目をたてたばかりなので、史料の出方次第による。

今井副会長：海岸の埋立ては非常に微妙な問題があるので、埋立ての記念碑などの範囲でしか明らかになっていない。

吉田会長：社会・教育・暮らし・文化というのテーマについては、もう一步踏み込んで、地域史料を活用しながら、千葉市域の個々の地域に応じて人々の暮らしや変化を取り上げるような項目を立てられると良いと思う。

中澤委員：戦後の史料編の社会・教育・文化の分野を見る限り、時代を象徴するものを取り上げている印象がある。現時点では、この時代はこういう事柄を見ていきたいとイメージし始めたばかりで、具体的な史料や目録はこれから確認していく段階ではないかと思う。

吉田会長：最初から項目をたててそれに応じて史料を探す方法と、史料を見て項目を立てる方法がある。やはり史料を読み込んだうえで、テーマを立ち上げてといくという形が基本だと思う。

中澤委員：具体的な史料を見て構成案にテーマを盛り込んでいく方がよいが、それを始めると大枠が決まらないので、大枠は決めておいた方がよいと思う。漁業に関しては、担当者が長年テーマにしており、漁業権の問題も扱っているので、すごく心がけて史料を探していると思う。

今井副会長：漁業権の問題でいうと、調査でまわっていたとき漁協から史料の閲覧を断られた経験がある。漁業補償の問題など微妙な点は聞くことができなかった。

芦田副館長：史料があるかわからないが、「漁業の衰退」という項目で、漁業権の放棄を想定していると思う。

吉田会長：漁業の状況と衰退の問題は、わずか10年か20年の時期の差なのに編で分けて説明している。時代の変化を輪切りで見する方法もあるが、地域の歴史は輪切りされるわけではなく、時間は縦に進んでいる。戦後の時期を10数年で輪切りにして、それぞれ分けて扱うのはどうなのかと思う。地域に応じた史料編の編集のあり方にも通じる。

小池委員：戦後の時期になると、特に産業・経済面で、利権だとかいろいろ難しい問題が出てきて、どういう史料をピックアップするか、姿勢が問われそうな気がする。

中澤委員：第1巻目は、項目別に編を分け、時代を続けて見るという形にした。第2巻目は時期を分ける形になった。ただし、項目別に時代を貫く形は工夫次第でできると思う。例えば「暮らし」を戦後復興から高度成長期まで続ける見るとか。

佐野委員：1編の「社会・教育・文化」の章で「戦後教育の始まり」という項目が立っているが、2編の「教育・暮らし・文化」の章になると教育の柱が立っていないような気がする。ちょうどこの頃、千葉市にいくつか大学が入ってくる時期だと思うので、教育に関する柱が1本あっても良い気がする。戦後に教育体系がいろいろ変わり、新しい取り組みが始まり、それが現在も続き、中高一貫教育の礎みたいなものがあったりする可能性がある。

天野館長：教育に関しては『千葉市教育史』が刊行されているので、おそらくそれを踏まえていると思われる。

吉田会長：議題1について他にどうか。何もなければ議題2に移る。

議題2 令和6年度事業中間報告について

令和6年度事業中間報告について、5つの項目に分けて、芦田副館長が説明。

<質疑応答>

吉田会長：議題2について質問や意見をお願いしたい。千葉寺文書の概要をもっと知りたいので、具体的に教えてほしい。

土屋主任主事：近世の千葉寺は朱印地100石の寺領を持っていた。今回発見された史料には、18世紀中頃から19世紀初頭における田畑の帳簿類がある。また、幕末期から明治期にかけて千葉寺に寄附したものを記載した目録や台帳が出てきた。さらに近世の証書類がいくつかある。

吉田会長：史料調査・収集・整理事業は非常に重要である。近世・近代の古文書が豊富に残っている自治体は希有だと思う。また、刊行事業について、ニューズレター『ちば市史編さん便り』の配布はどのような形で行われているのか。

土屋主任主事：館内のほか、市内の生涯学習施設、市外の史料保存機関へ配布している。さらに、今まで調査した史料所蔵者にも配布している。

吉田会長：定期的に読みたいといった問い合わせがあった場合は対応しているのか。

天野館長：定期購読のような形での対応はしていないが、毎回楽しみに取っていく来館者

もいるので、館内で配布する分はほぼ無くなる。

吉田会長：会員制みたいにしてメールで送付するのはどうか。

芦田副館長：ニューズレターはホームページに PDF データを掲載している。

吉田会長：新聞に定期的に掲載していたコラム記事はどうなっているのか。

土屋主任主事：原稿を集めるのがなかなか厳しいため、一時中断している。

佐野委員：定期的にコラム記事を書くのは大変であるが、興味が薄れてしまうので、半年ぐらいに1回掲載するような方法がよいと思う。

吉田会長：原稿があれば、対応してもらえるのか。

佐野委員：原稿がある程度出てきたら進めるような話は、担当から聞いている。

吉田会長：議題2について他にどうか。何もなければ議題3に移る。

議題3 その他

<質疑応答>

吉田会長：議題2はその他とあるが、何かあるか。

天野館長：10月から閉館して館内の常設展示のリニューアルを行い、来年11月頃にリニューアルオープンする予定である。「人とモノ、海と陸をつなぐ千葉」というテーマで、展示内容を検討しているところである。

小池委員：いくつかの博物館を訪れる機会があるが、5～10分程度の映像でアナウンスしてくれて、それを座って見ることができる場所があると、随分助かる。簡単なVTRで概略がわかり、予習をしてから展示を見ると理解できる。

佐野委員：尺を短くすることが重要である。最初の5秒ぐらいが大事だといわれている。

吉田会長：展示シナリオはきちんと博物館で構成することが基本だと思う。
他に何もなければ、以上をもって、議事を終了する。

司会（錦織主査）の進行により、令和6年度第1回千葉市史編さん会議を終了した。

問い合わせ先 千葉市立郷土博物館市史編さん担当
TEL 043-222-8231